

2026 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 東 京 通 信 グ ル ー プ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 C E O 古 屋 佑 樹
(コード番号：7359 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 赤 堀 政 彦
(TEL. 03-6452-4523)

「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日付で公表いたしました「2026 年 12 月期決算短信（中間期）〔日本基準〕（連結）」において、これまで記載しておりました「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載をしておりましたが、前連結会計年度においては、経営資源を収益性の高い既存事業へ重点的に配分するとともに、不採算事業の整理を進めるなど、収益構造の見直しを実施いたしました。その結果、既存事業を中心とした収益基盤が強化され、グループ全体として黒字転換するとともに、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高益を更新いたしました。

当中間連結会計期間においても、この改善基調は継続しており、主力であるメディア事業では当第 2 四半期会計期間（4 月から 6 月の 3 ヶ月間）の売上高が四半期ベースで過去最高を更新したほか、3 つの報告セグメントすべてにおいて営業利益が前年同期比で二桁増益となるなど、各事業が堅調に推移いたしました。

こうした状況を総合的に判断し、当中間連結会計期間末において継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況は解消したと判断し、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消することといたしました。

株主様をはじめとする関係者の皆様には、多大なるご心配をおかけいたしました。今後さらなる企業価値の向上に一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上